

# 瑞穂町産業振興ビジョン（素案）及び工業振興計画（素案）に対する意見と町の考え

No.	該当箇所	意見等	町の考え
1	工業振興計画（素案） 第3章以降	<p>今回の工業振興計画において、4つの基本方針を設けて各々に重点項目を設け優先順位をつけていることは、計画が総花的になり計画のための計画となり目的が失われてしまいがちな点を回避できる可能性があり、非常に良い点だと思います。PDCAを実行力のあるものとしてうまく回していくことが求められると思います。また、町内事業者の75%が従業員規模10人未満であり、ある程度の規模に達した企業は、自力で問題解決に向かっていきますが、問題に取り組めない小規模・零細事業者に行政の声をいかに届けていくのか、手を差し伸べていくのかという点が欠けているのではないのでしょうか。ここ数年、トリクルダウンの失敗が顕著になり格差が拡大しています。本計画案においてもアンケート・ヒアリング等を行っていますが事業者数の75%を占めるサイレントマジョリティーの声がどこまでくみ上げられているのか、DX・デジタル・人材の確保・事業承継どれをとっても50%占めています。従業者数4人以下の事業者をどのように誘導していくのかが問われるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、町内には比較的小規模の製造業事業者が多く、どのように行政の声を届け、誘導するかが課題であると考えています。また、サイレントマジョリティーの声がくみ上げられているのか、という点に関しては、これまでも企業訪問を実施し課題等の把握に努めています。</p> <p>計画（素案）においては、基本施策2-1②（企業訪問の充実）に取り組むとしていますが、計画を推進する町の施策を事業者に伝えるとともに課題や現状の把握等を行うため、体制を強化し実施します。さらに、関係機関とも連携し、施策等の周知に努めます。</p>